

アセタゾラミド 250mg 錠

溶出試験 本品 1 個をとり，試験液に pH4.0 の 0.05mol/L 酢酸・酢酸ナトリウム緩衝液 900mL を用い，溶出試験法第 2 法により，毎分 75 回転で試験を行う．溶出試験開始 90 分後，溶出液 20mL 以上をとり，孔径 0.45 μ m 以下のメンブランフィルターでろ過する．初めのろ液 10mL を除き，次のろ液 5mL を正確に量り，pH4.0 の 0.05mol/L 酢酸・酢酸ナトリウム緩衝液を加えて正確に 100mL とし，試料溶液とする．別にアセタゾラミド標準品を 105 で 3 時間乾燥し，その約 14mg を精密に量り，メタノール 10mL に溶かし，pH4.0 の 0.05mol/L 酢酸・酢酸ナトリウム緩衝液を加えて正確に 50mL とする．この液 5mL を正確に量り，pH4.0 の 0.05mol/L 酢酸・酢酸ナトリウム緩衝液を加えて正確に 100mL とし，標準溶液とする．試料溶液及び標準溶液につき，pH4.0 の 0.05mol/L 酢酸・酢酸ナトリウム緩衝液を対照とし，紫外可視吸光度測定法により試験を行い，波長 266nm における吸光度 A_T 及び A_S を測定する．

本品の 90 分間の溶出率が 75%以上のときは適合とする．

アセタゾラミド ($C_4H_6N_4O_3S_2$) の表示量に対する溶出率 (%)

$$= W_S \times \frac{A_T}{A_S} \times \frac{1}{C} \times 1800$$

W_S : アセタゾラミド標準品の量 (mg)

C : 1 錠中のアセタゾラミド ($C_4H_6N_4O_3S_2$) の表示量 (mg)

アセタゾラミド標準品 アセタゾラミド (日局)．ただし，乾燥したものを定量するとき，アセタゾラミド ($C_4H_6N_4O_3S_2$) 99.0% 以上を含むもの．